

ザクセン＝アンハルト州議会選挙、極右政党が歴史的勝利

丸紅欧州会社

国際調査チーム長 近内 健

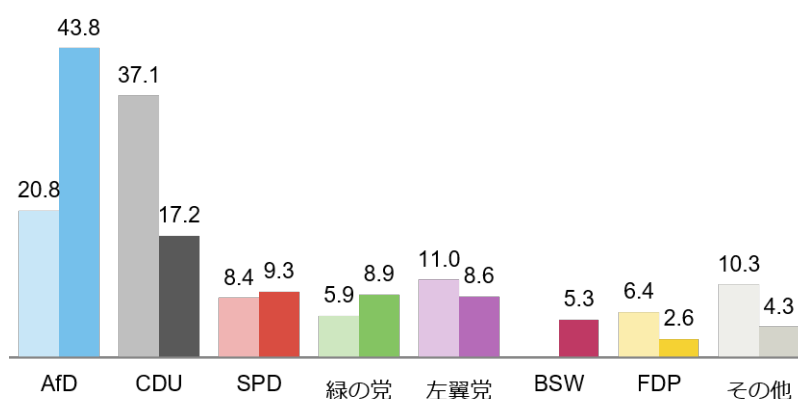
chikauchi-ken@marubeni.com

- 9 月 6 日に実施されたドイツ東部ザクセン＝アンハルト州議会選挙において、極右政党「ドイツのための選択肢（AfD）」が歴史的な勝利を遂げた。ただし過半数には届かず、政権の樹立に注目が集まる。
- 左派ポピュリスト政党の「ザーラ・ワーゲンクネヒト同盟（BSW）」が 5 議席を獲得したことで、反 AfD 連立政権の樹立は極めて困難な状況に。
- AfD の州首相候補のジークムント氏はこれまでの AfD 過半数の場合のみ政権を取るという姿勢を緩和し、連立交渉に応じる構えを見せ始めた。現時点で可能性が高いのは 2 回の首相指名投票を終えた後での AfD-BSW の連立政権の樹立か、先の見えない混乱の長期化。
- CDU 党内の一部からはメルツ首相の辞任を求める声上がるも、現時点では「メルツ下ろし」の動きは広がっていない。しかし、CDU は政策の修正や人事の刷新が今後必要になる可能性が高い。
- 州政権ができることは限定されるものの、AfD が政権を獲得した場合、教育や住民生活といった分野で影響があり得る。ビジネスや安全保障環境への影響も無いとは言い切れない。

1. 予想通りの AfD の勝利。ただし過半数には届かず

9 月 6 日に実施されたドイツ東部ザクセン＝アンハルト州議会選挙において、極右政党「ドイツのための選択肢（AfD）」が歴史的な勝利を収めた。政権樹立に至れば、第 2 次世界大戦後のドイツで初めて極右政党が州政権を握ることになる。

図表 1 ザクセン＝アンハルト州議会選挙 得票率
(左：2021 年、右：2026 年、%、2026 年は暫定結果)



AfD は定数 83 のザクセン＝アンハルト州議会で 43.8%という同州史上最高の得票率¹（図表 1）で 39 議席を獲得（改選前から 16 議席増）。過半数の（42 議席）獲得は至らなかったものの、第一党に躍り出た。一方、2002 年以来第一党の座を維持してきたキリスト教民主同盟（CDU）は 25 議席を

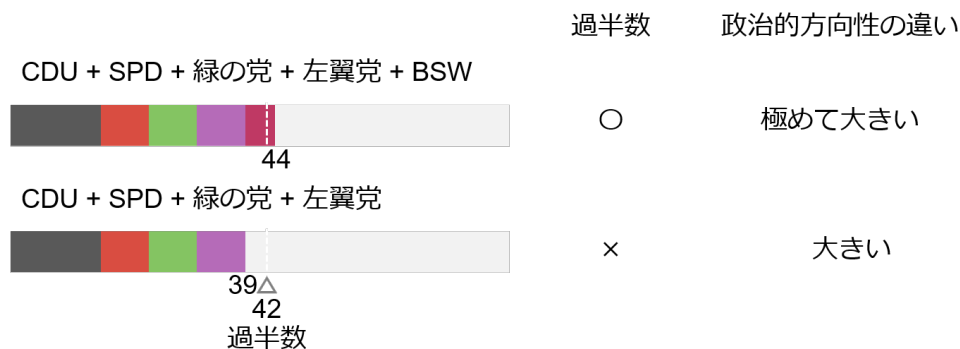
¹ これまで同州議会選挙で最も高かった得票率は CDU の 39.0%（1990 年）。

失い 15 議席まで落ち込んだ。連立政権樹立の鍵を握る可能性がある左派ポピュリスト政党の「ザーラ・ワーゲンクネヒト同盟 (BSW)」の得票率は 5%を超え、いわゆる「5%阻止条項²⁾」に阻まれることなく 5 議席を獲得した。

2. 一層困難になった反 AfD 連立政権の樹立

事前の世論調査に基づく政権樹立に向けたシナリオは大きく二つあった。一つは AfD が政権を獲得。そしてもう一つは反 AfD の連立政権の構築だ。今回、BSW が議席を獲得したことで、後者の反 AfD による連立政権の樹立は極めて困難になった。反 AfD 連立が過半数を獲得するには現在の同州の連立政権の一部である CDU、SPD に加えて、緑の党、左翼党、そして BSW まで含めた 5 党の連立が必要になる (図表 2)。

図表 2 反 AfD 連立政権の樹立の可能性は大きく後退



CDU にとって、左翼党との連立が容易でないことは 8/31 付けレポート⁵⁾でも言及した通りであるが、BSW までも加えた 5 党連立は数としても多い上に、そもそも BSW は選挙戦において CDU の州首相を退任させることを目標として掲げていた。第二党となった CDU からの州首相は当然認めないだろう。また、CDU が、BSW が受け入れられるような超党派の候補者を提案するという可能性はゼロではないものの、5 党の間には政治的な相違点が多すぎて連立は不可能と言わざるを得ない^{3,4)}。

3. AfD 州首相候補は首相指名投票への出馬に意欲、連立交渉も

選挙戦の間、AfD の州首相候補のジークムント氏は「絶対過半数を獲得した場合のみ」政権を獲得する意向であることを重ねて強調していたが、選挙後は（過半数を得られなかったものの）大勝という結果を受けて「政権を担うという使命だ」と発言するなど対応に変化が見られる。また、「過半数を

²⁾ ザクセン＝アンハルト州議会選挙の投票は 1 人 2 票制。第一票は選挙区で一人を選び、第二票は州全体から政党を選ぶ。第二票の州全体の得票率に基づき議席が比例配分されるが、少なくとも 5%の得票率を獲得しないと比例配分を受けられない。

³⁾ ザクセン＝アンハルト州首相、同州 CDU 代表のスヴェン・シュルツェ氏は 9 月 7 日の記者会見で「CDU にはもはや政権を担う委任はない。我々は野党だ。」と下野を表明し、反 AfD 連立政権を主導する役割を降りた。一方、緑の党の州首相候補ザイドリッツ氏は AfD 主導の政権を阻止する試みを続ける意向を示している。

⁴⁾ BSW は打倒 CDU を公約に掲げて州議会選挙戦を戦ってきた。

確保するため、今後はすべての会派だけでなく、個々の議員に対しても協議を申し入れる」と連立交渉にも意欲を見せた。

しかし、現時点では表向きは連立政権樹立の見通しは立っていない。BSW を除く CDU、社会民主党 (SPD、8 議席)、左翼党 (8 議席)、緑の党 (8 議席) はいずれも AfD との協力について対話すら行わないことを表明しているが、移民問題や対ロシア政策⁵などについて AfD に近い考えを有する BSW も、同党共同州首相候補のウィティツヒ氏が一部の課題での AfD との協力について、また、同じく BSW の共同州首相候補のトーマス・シュルツェ氏がいわゆる極右に対する防火壁への不参加を表明したものの、ザクセン＝アンハルト州 BSW として AfD 連立政権への参加については表明していない。

4. 3 回目投票で決まらない場合は混乱の長期化も

選挙戦中、BSW は「誰とでも話し合うが、誰とも連立は組まない」とし、超党派の州首相を擁立し、その下に各陣営から大臣を登用するという構想を掲げていた（ただし、具体的な候補者名を全く挙げておらず、これを BSW による戦術と見る向きもある⁶）。それゆえ、BSW は少なくとも 1、2 回目の州首相選出投票ではジークムント氏に投票しない可能性が高い。1、2 回目の投票では全議員の過半数（42 票）が必要となるため、ジークムント氏が選出されるには AfD 以外からの支持が 3 票以上必要となる。大きく支持を落とした CDU から AfD へ議員が移籍する憶測が予てから存在するが、これを煽っているのは AfD 自身とされる上に、具体的な議員の名前やそうした動きを裏付ける証拠は何も挙がっていない。州首相指名投票は秘密投票となるため離反が無いとは言い切れないものの、1、2 回目の投票では BSW がジークムント氏を支持しない限り、同氏が州首相に選ばれる可能性は極めて低い。

動きがあるとすれば 1、2 回目の投票の後だろう。3 回目の投票では BSW は棄権をする意向を示している。これは一見すると AfD の首相候補にも、そして反 AfD 連立が推す首相候補にも投票しないという中立的な投票行動に見えるが、3 回目の投票は投じられた票の過半数で当選が決定するため、棄権者が増えることは AfD を利することになる。BSW は 5 議席を有しており、5 名全員が棄権をした場合、有効投票数は最大で 78、過半数は 40 だ。AfD、BSW 以外の政党が、ジークムント氏以外の一人の首相候補を推すことでまとまった場合でも、39 人の AfD 議員が全員ジークムント氏に投票し、これに加えて AfD、BSW 以外の議員がジークムント氏に票を投じるか、AfD、BSW 以外の議員が 1

⁵ ザクセン＝アンハルト州 AfD が掲げる政策の詳細は 8 月 31 日付けレポート「後半戦を迎えるドイツ州選挙」を参照。https://www.marubeni.com/jp/research/report/data/260831_MarubeniLondonReport.pdf

⁶ 政治学者のヘーネ氏によれば、1、2 回目の投票では AfD を積極的に支持せずに、3 回目の投票で棄権することで AfD を支援し、後に AfD の協力パートナーとなるというもの。<https://www.mdr.de/nachrichten/sachsen-anhalt/landtagswahl/video-hoehne-rolle-bsw-100.html>

人でも棄権をすればジークムント氏が州首相となる⁷。逆に BSW の 5 名が棄権を続け、AfD と BSW 以外の議員がジークムント氏への投票も、棄権もしない限りはジークムント氏は首相に選ばれず、長期的な混乱に陥る可能性もある⁸。州首相が選ばれない限り、現在のスヴェン・シュルツェ州首相(CDU)が暫定的に職務を続けるが、州首相選出の期限の定めが存在しないため、その期間が年単位に及ぶ可能性もある。現時点ではここで述べた二つのケース、即ち妥協あるいは離反による AfD-BSW の連立政権の樹立か、先の見えない混乱の長期化だ。

5. 現時点で「メルツ下ろし」の議論は拡大していないものの火種は燦燦

選挙当日の夜、選挙結果の速報を受けて CDU の一部からはメルツ首相の辞任要求が出たものの、CDU 上層部はメルツ氏とその改革路線を支持する構えを見せた。メルツ氏自身も選挙結果について、「ザクセン＝アンハルト州だけでなく、ドイツ全土で何かが変わった」、「ここ数十年で被った最も深刻な敗北」とした一方で、「事態の深刻さを踏まえて対応を図っていく」として辞任については否定している。ただし、メルツ下ろしの議論が拡大しないことの一つには、1 週間後にニーダーザクセン州の地方自治体選挙、2 週間後にはメクレンブルク＝フォアポンメルン州とベルリンで州議会選挙が行われるこのタイミングでメルツ氏の後任を巡る議論をしたところで、状況は好転せず、むしろ悪化するからという見方もある⁹。

一部から辞任要求が出たことに示されるよう、CDU 内部がメルツ氏続投で一枚岩という訳ではない。現在進めている改革路線を維持するのならば、CDU 浮上のために残された手段は人事の刷新しかないという声も上がる。確かに、来年 4 月と 5 月にノルトライン＝ヴェストファーレン州とシュレスヴィヒ＝ホルシュタイン州の選挙が控えている中で、政策も人事も変えずに突き進めば、益々支持を失いかねない。政策の修正あるいは人事の刷新が今後然るべきタイミングで行われてもおかしくはないだろう。

一方、連邦政府で連立政権のパートナーである SPD はメルツ首相の改革路線に疑問を呈している。選挙翌日には SPD の複数の幹部が、メルツ氏が進めようとしている年金改革への修正を要求した。

⁷ なお、州憲法上は少数与党政権も可能。ザクセン＝アンハルト州憲法第 65.1 条は、首相の選出を義務付けているが、恒久的な形での過半数の連立政権の樹立は求めている。同州では過去に SPD のヘッブナー州首相（当時）が 1994 年から 2002 年にかけて少数与党政権を運営していた。

⁸ 1、2 回目の投票で州首相が決まらなかった場合、州議会は絶対過半数で議会の解散を決定することができる（2 回目投票後の特則。ザクセン＝アンハルト州憲法第 65.2 条）が、AfD の票だけでは足りず、BSW は 5% 阻止条項をぎりぎり（得票率 5.3%）で回避したことから、再選挙を支持する可能性は低い。ここで解散の決定に至らなかった場合、首相指名の 3 回目投票（単純過半数）に向かうが、以降は解散・再選挙については、任期開始から 6 か月間は動議すら出せない上に、その後は解散について全議員の 3 分の 2 の賛成が必要とされている（同州憲法 60 条）。同州憲法には州首相を選出すべき期限も、期限内に首相を選出できなければ議会が自動的に解散されるという規定も存在しないという制度上の空白がある。

⁹ 一方でメクレンブルク＝フォアポンメルン州 CDU の副代表のショーマン氏は、9 月 8 日にメルツ首相の交代を要求。州選挙を前にした世論調査によると CDU の支持率は 8 月以降に実施された調査で 8~10% の支持率に留まる。

また、SPD は自らの支持基盤を繋ぎとめるため、メルツ氏が進める社会保障改革に対して抵抗する場面が今後増えるかもしれない。ただ、一連の改革が滞ることで経済が悪化した場合には、CDU への支持が益々後退、極右をさらに勢いづける可能性もある。いずれにしてもメルツ氏や CDU は難しい舵取りを求められる。

6. 「AfD 州政権」は教育や住民生活に影響しうる。ビジネスや安全保障にも

仮に AfD 州政権が樹立された場合のことを考えてみたい。今年 4 月にザクセン＝アンハルト州 AfD が採択した政策プログラム^{10,11}には急進的かつドイツ民族を優先した政策が数多く並べられており、現行の政策から 180 度の転換と思えるようなものも少なくない。ウクライナからの避難民には帰国を求め、ドイツとロシアとの経済関係を復活させ、再生可能エネルギーへの補助金は停止、化石燃料への回帰を求めている。もちろん、法的（連邦法、ドイツ憲法、EU 法）および財政的な制約からその多くは実現が困難と見られているが¹²、連邦州が権限を有する学校教育に加えて、文化と統合、移民と再移住の分野では実現可能な余地があり、教育や地域住民の生活に影響を及ぼす可能性がある。

また、ビジネスへの影響が全くないとも言い切れない。AfD が掲げる風力発電の推進の停止措置が裁判所によって合法と認められる可能性は低いものの、法廷闘争が長期に及ぶようなことになれば投資判断に影響を及ぼす可能性もある¹³。様々な急進的な政策は再生可能エネルギー分野に限らず、同州への積極的な投資を躊躇わせる要因になり得る。

さらに、州政権の獲得によって AfD は初めて連邦参議院（Bundesrat）¹⁴に代表者を送ることになる。ザクセン＝アンハルト州の表決権は全体（69）のうちごくわずか（4）を占めるだけに過ぎず、連邦参議院としての決定をコントロールすることは不可能であるものの、州政府として連邦参議院に法案を提出できるようになり、移民問題などに関する要求を連邦レベルでの議論に持ち込む機会を得る。

一方、極右政党が政権を取った場合に、政策実行能力の乏しさから支持者の離反が生じるという見方もある。上述したようにザクセン＝アンハルト州の政策プログラムには政策実行能力を論じる前に、

¹⁰ <https://afd-regierungsprogramm.de/>

¹¹ 単独政権の樹立は困難となったものの、ジークムント氏は州議会での首相指名での過半数確保にあたって「AfD の中核的な政策は 100%実行」、「権力掌握よりも AfD の政策プログラムを実行することの方が重要だ」と強調しており、他党との連立政権の場合でも、本プログラムがベースになると考えられる。

¹² S. Leuning, "Was könnte eine AfD-Alleinregierung in Sachsen-Anhalt umsetzen? Eine Einschätzung auf (verfassungs-)rechtlicher und politischer Grundlage", <https://www.pw-portal.de/repraesentation-und-parlamentarismus/ueberblick/was-will-darf-und-kann-eine-afd-alleinregierung-in-sachsen-anhalt-umsetzen-eine-einschaetzung-auf-verfassungs-rechtlicher-und-politischer-grundlage>

¹³ ザクセン＝アンハルト州の風力発電容量は累計、2025 年新設ともに 16 の連邦州の中で第 5 位。

¹⁴ 連邦参議院の議員は連邦議会（Bundestag）の議員と異なり、選挙で直接選出されるのではなく、16 の連邦州の代表者によって構成される。人口に応じた表決権を有する。

法的・財政的観点から不可能と見られる提案も数多く含まれる。しかし、実際には AfD もこうした制約について理解した上で提案を行っている。実現不可能な提案（しばしば「有権者への欺瞞」とも呼ばれる）を行い、後から、実現できない理由を連邦政府や EU のせいにして現状に不満を持つ有権者を取り込み、支持をさらに拡大する可能性も十分にあるだろう。

ドイツを超えた影響も無視できなくなる。親ロシア政党が州政府¹⁵とはいえ権力を握ることでドイツ国内に一定のロシアの足掛かりができることになり、ドイツのみならず EU の安全保障環境にも影響を及ぼす可能性がある。他の親ロシア勢力の立場を強めることになるかもしれない。

¹⁵ ドイツの 16 の連邦州政府は大臣会議と呼ばれるネットワークを通じて定期的に政策調整を行なっている。州政府内務相会議では安全保障関連のテーマが話し合われる。

丸紅欧州会社

95 Gresham St, London EC2V 7AB

<https://www.marubeni.com/jp/research/>

(免責事項)

- 本資料は公開情報に基づいて作成されていますが、当社はその正当性、相当性、完全性を保証するものではありません。
- 資料に従って決断した行為に起因する利害得失はその行為者自身に帰するもので、当社は何らの責任を負うものではありません。
- 本資料に掲載している内容は予告なしに変更することがあります。
- 本資料に掲載している個々の文章、写真、イラストなど（以下「情報」といいます）は、当社の著作物であり、日本の著作権法及びベルヌ条約などの国際条約により、著作権の保護を受けています。個人の私的使用及び引用など、著作権法により認められている場合を除き、本資料に掲載している情報を、著作権者に無断で複製、頒布、改変、翻訳、翻案、公衆送信、送信可能化などすることは著作権法違反となります。